



小児看護学分野の東日本大震災後の活動記録

東北大学大学院医学系研究科保健学専攻小児看護学分野

教員氏名：教授 塩飽 仁，助教 鈴木祐子

所在場所：保健学科B棟，連絡先：inquiry@chn.med.tohoku.ac.jp

小児看護学分野は，震災直後から次のような被災地支援活動を行ってきました。

●ドイツでの募金活動に基づいた活動

大学院生で病院の小児看護CNSの井上由紀子さんの妹さんの井上真理子さんがドイツ留学中にお世話になった方々が日本のために募金活動を始められ，3月22日に真理子さんに仙台の状況の問い合わせがありました。活動のとりまとめをなさっている方は，ドイツOffenburg/Renchenにお住まいの，John Görmannさんです。Görmannさんはドイツで居合道の道場をなさっている方です。集めた募金を被災した方々に直接使っていただける比較的小さい規模の受け入れ先を探しているとのことで，真理子さんから分野に相談がありました。そこで石巻の子どもたちの様子などお伝えして避難所の子どもたちの支援を提案したところ，賛同が得られ，ドイツでの本格的な募金活動が始まりました。Görmannさんと我々の間で橋渡しをしてくださったのがドイツ在住の今井敏恭さんです。今井さんはドイツで会社を経営されており奥様は仙台出身です。

■Görmannさんのwebsite

IAIDOKAI Offenbourg <http://www.iaidokai.de/>

様々なチャリティーイベントが開かれ，地元の新聞にも繰り返し取り上げられました。

・Mittelbadische Presse：2011年4月11日掲載記事

http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/doc/20110411_Mittelbadische_Presse.pdf

・Baden-online 2011年4月18日掲載記事

http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/doc/20110418_baden-online.pdf

・Mittelbadische Press 2011年6月20日掲載記事

[http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/wp-](http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/wp-content/uploads/2011/08/20110620_Presseartikel_japanisch.pdf)

[content/uploads/2011/08/20110620_Presseartikel_japanisch.pdf](http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/wp-content/uploads/2011/08/20110620_Presseartikel_japanisch.pdf)

・Mittelbadische Press 2011年10月25日掲載記事

http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/doc/20111025_Newspaper_article_japanese.pdf

Görmannさんはクリスマスやイースターに合わせてドイツから子どもたち用のプレゼント小包を分野宛に送ってくださいます。この小包を石巻に届け，柴田さんからにじいろクレヨンに参加している子どもたちに配っていただいています。この募金で集められた義援金で下記の支援を展開しました。

○NPO 法人「にじいろクレヨン」への活動資金の寄付 40 万円

石巻や東松島，仙台（高砂）の避難所／仮設住宅で過ごしている子どもたちに遊びを提供している上記の団体の活動を支えるために資金を提供しました。

○福島県富岡町立富岡第一小学校への遊具購入資金の寄付 100 万円

千葉大学同窓会ニューズレターで同大卒業生の富岡第一小学校の校長である八島 敬先生が「避難先の三春町の工場跡地を借りて富岡第一小学校，第二小学校，第一中学校，第二中学校の児童生徒とともに学校活動を再開したが，遊具がないため寄付を募りたい」と寄稿されていたことを知り，遊具購入のための資金を寄付しました。全40 件，4,196,685 円の寄付金で2012 年春にブランコ2 基，ジャングルジム，すべり台2 基，雲梯，低鉄棒，バスケットゴール（1 組），高鉄棒，屋外時計が設置されました。

○NPO 法人「福島県の児童養護施設の子ども健康を考える会」への活動資金の寄付 40 万円

福島県の児童養護施設は9 か所あり，身寄りのない子どもたちや虐待を受けて保護された子どもたちなどが生活しています。原子力発電所の事故の影響で施設の周辺の放射線量は高いのですが法律によって避難が規制されており，施設の職員や看護師達が大変困っています。関東の大学教員の友人らとNPO法人を立ち上げ，施設の子どもたちや職員の健康状態を長期的にサポートする組織作りや支援を開始しました。

○NPO 法人「にじいろクレヨン」への研究資金の寄付 10 万円（予定）

2012 年1 月に柴田さんから「にじいろクレヨンに参加している子どもたちが日増しに元気になっているが，それを実証する研究をして欲しい」と依頼を受けました。この依頼を受けてにじいろクレヨンと分野の共同研究を行うことにしました。研究計画を立案して研究科倫理委員会の承認を得ましたので，2012 年8 月から調査活動を開始する予定です。この研究を遂行するために石巻で必要な研究資金をにじいろクレヨンに寄付しました。分野は調査と解析を担当します。ドイツからの義援金は今後も上記他の活動を支えるために有効活用していく予定です。

東北大学機関リポジトリ

東北大学機関リポジトリ"TOUR: TOhoku U niversity R epository"は、本学の学術研究成果及び教育成果を収集し、広く公開する目的を持ちます。著者名やタイトルなどの書誌情報だけでなく、学術研究・教育成果の本文を無償で提供します。